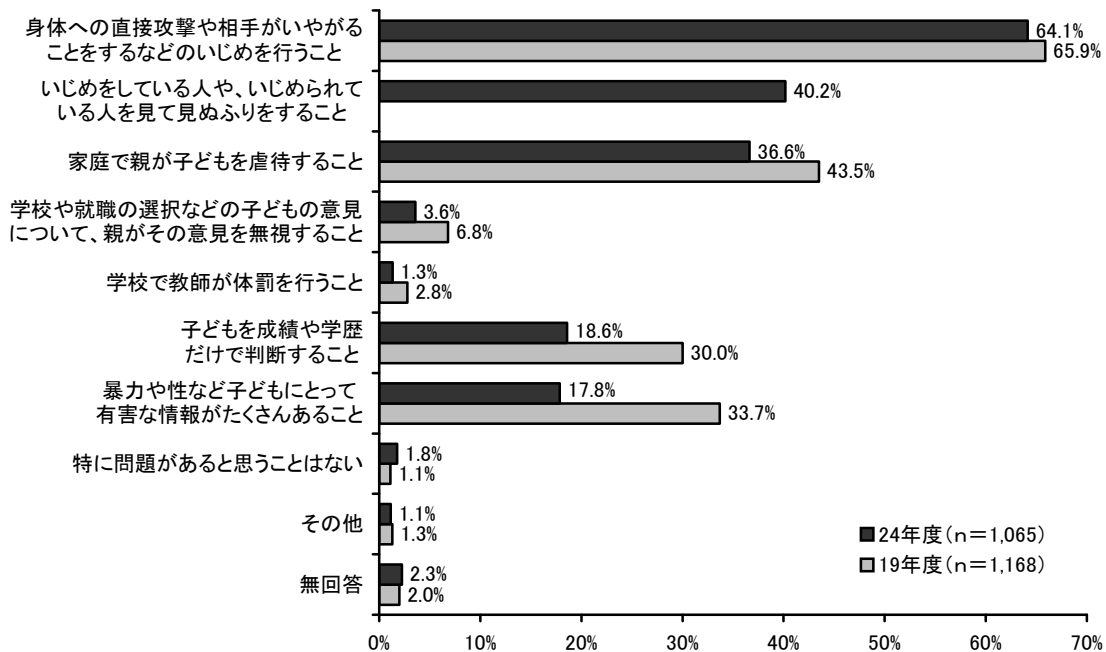


3-3 子どもの人権について

(1) 子どもの人権問題で、特に問題があると思うこと

問16 子どもの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

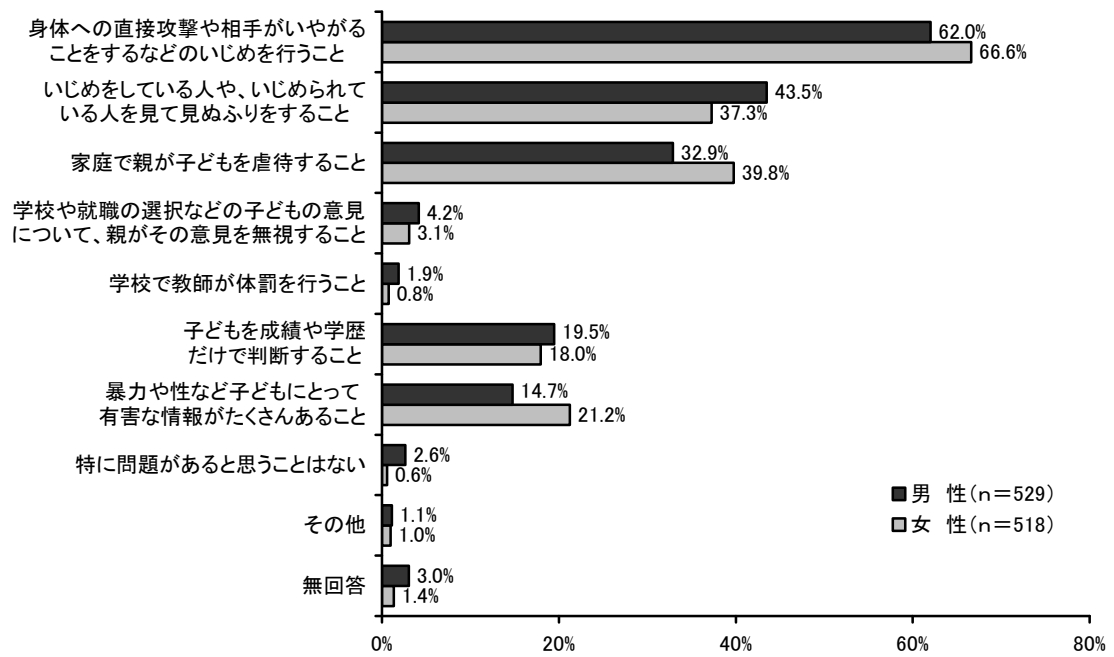


■「身体への直接攻撃や相手がいやがることをするなどのいじめを行うこと」が64.1%で最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」が40.2%、「家庭で親が子どもを虐待すること」が36.6%の順となっている。

【前回比較】

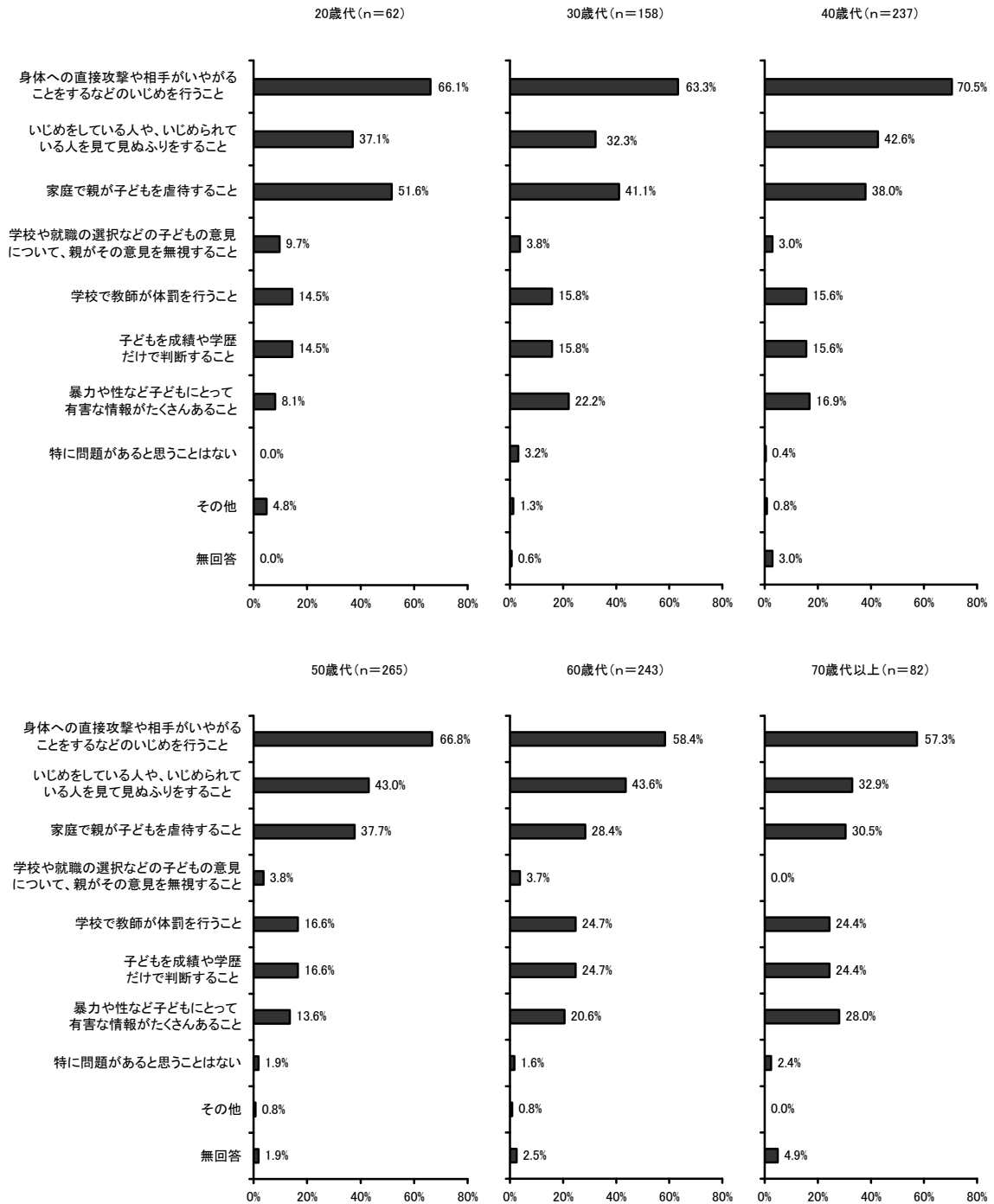
※「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



■男女間で大きな違いはみられない。

年代別

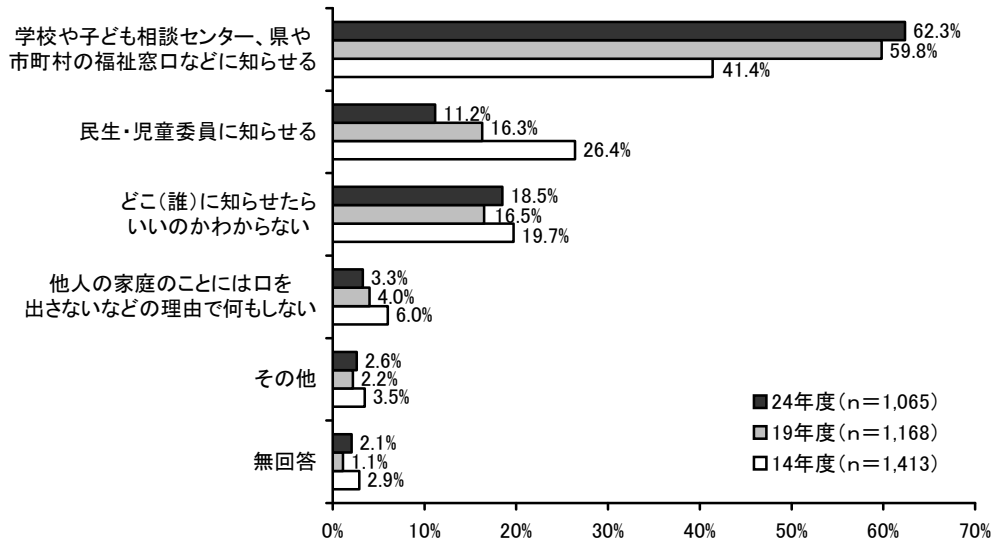


■全ての年代で「身体への直接攻撃や相手がいやがることをするなどのいじめを行うこと」の割合が最も高く、40歳代では7割を超えている。

■「家庭で親が子どもを虐待すること」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

(2) 児童虐待を発見したときの対応

問17 あなたが児童虐待を発見したらどうされますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

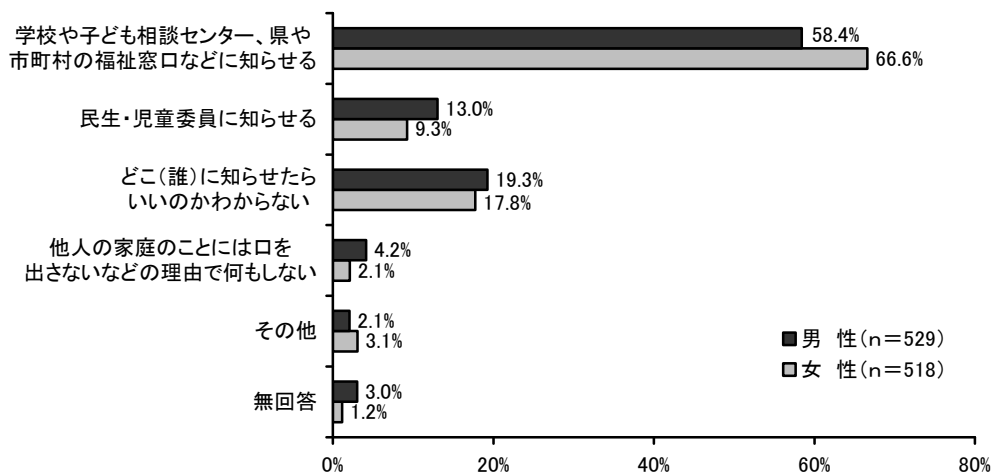


- 「学校や子ども相談センター、県や市町村の福祉窓口などに知らせる」が62.3%で最も高く、次いで「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」が18.5%、「民生・児童委員に知らせる」が11.2%の順となっている。

【前回比較】

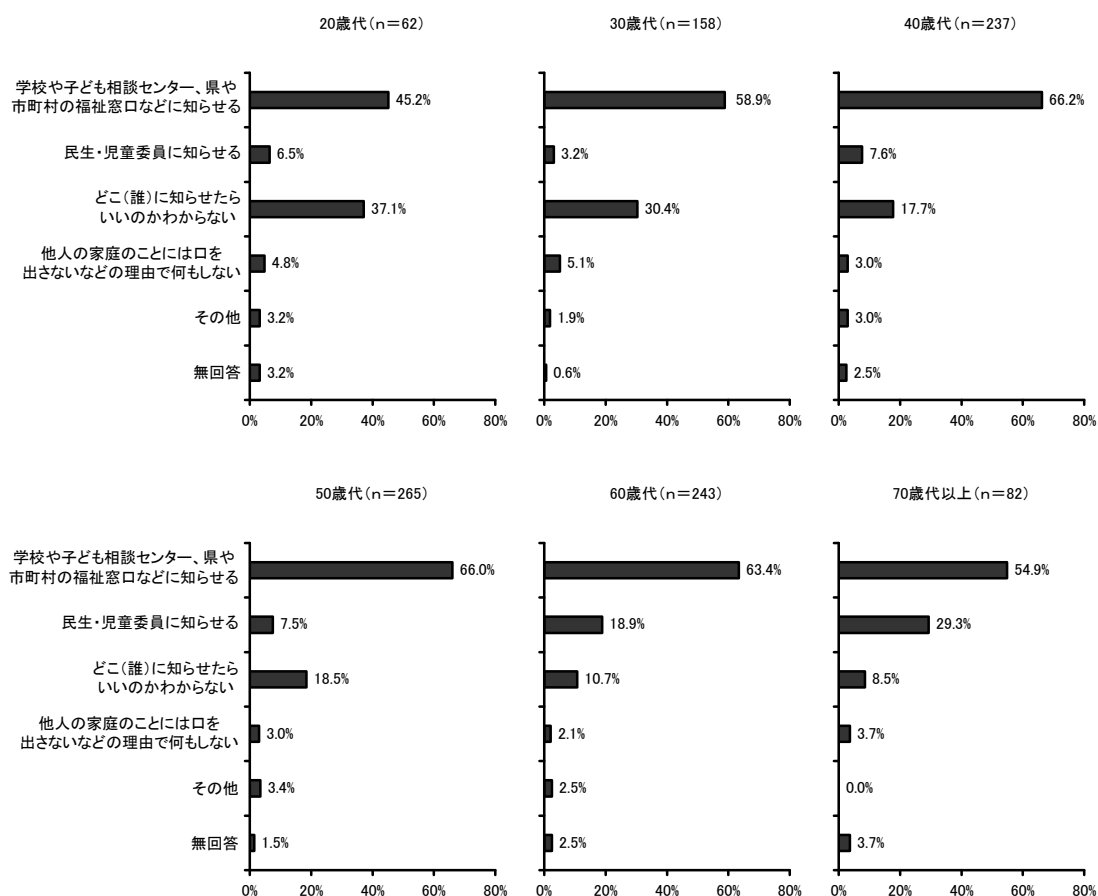
- 「学校や子ども相談センター、県や市町村の福祉窓口などに知らせる」は前回に比べ2.5ポイント、「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」は2.0ポイント増加している。

男女別



- 男女共に「学校や子ども相談センター、県や市町村の福祉窓口などに知らせる」の割合が最も高く、女性は6割を超えている。

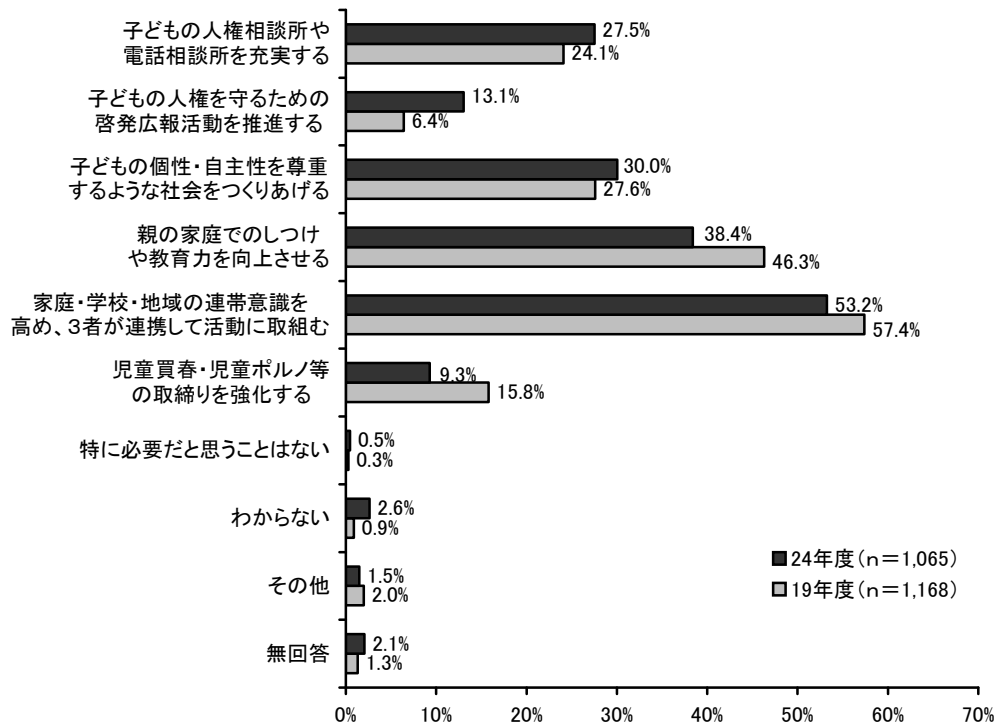
年代別



- 「民生・児童委員に知らせる」は70歳代以上で3割弱と、他の年代に比べて高くなっている。
- 「どこ（誰）に知らせたらいいのかわからない」の割合は、若い年代ほど高くなっており、20歳代では4割弱となっている。

(3) 子どもの人権を尊重するために必要なこと

問18 子どもの人権を尊重するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

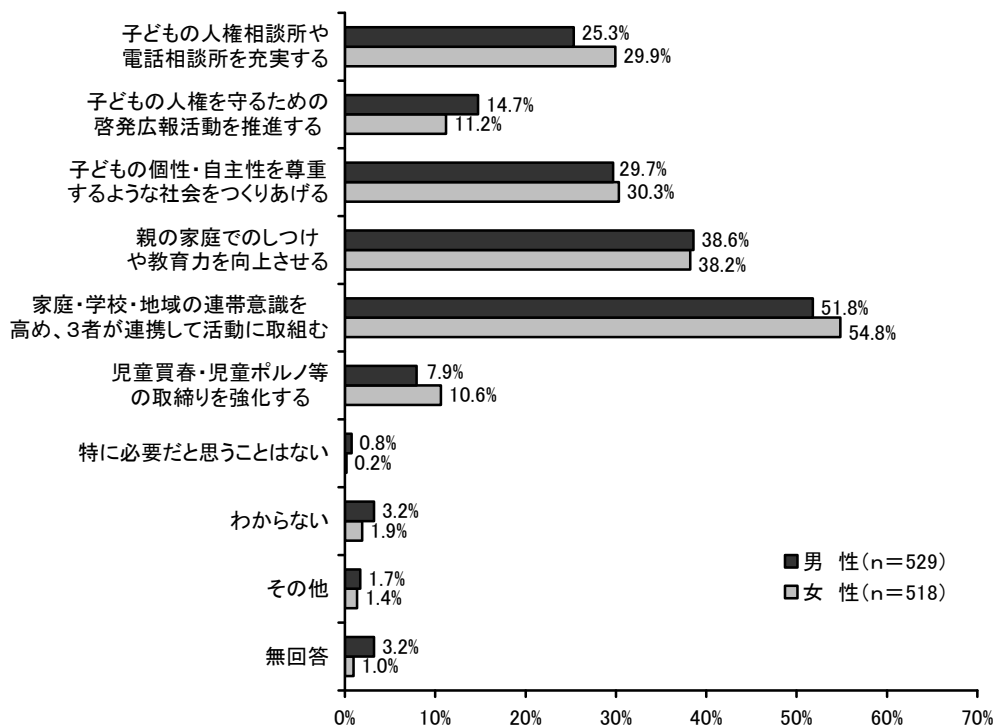


■「家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む」が53.2%で最も高く、次いで「親の家庭でのしつけや教育力を向上させる」が38.4%、「子どもの個性・自主性を尊重するような社会をつくりあげる」が30.0%の順となっている。

【前回比較】

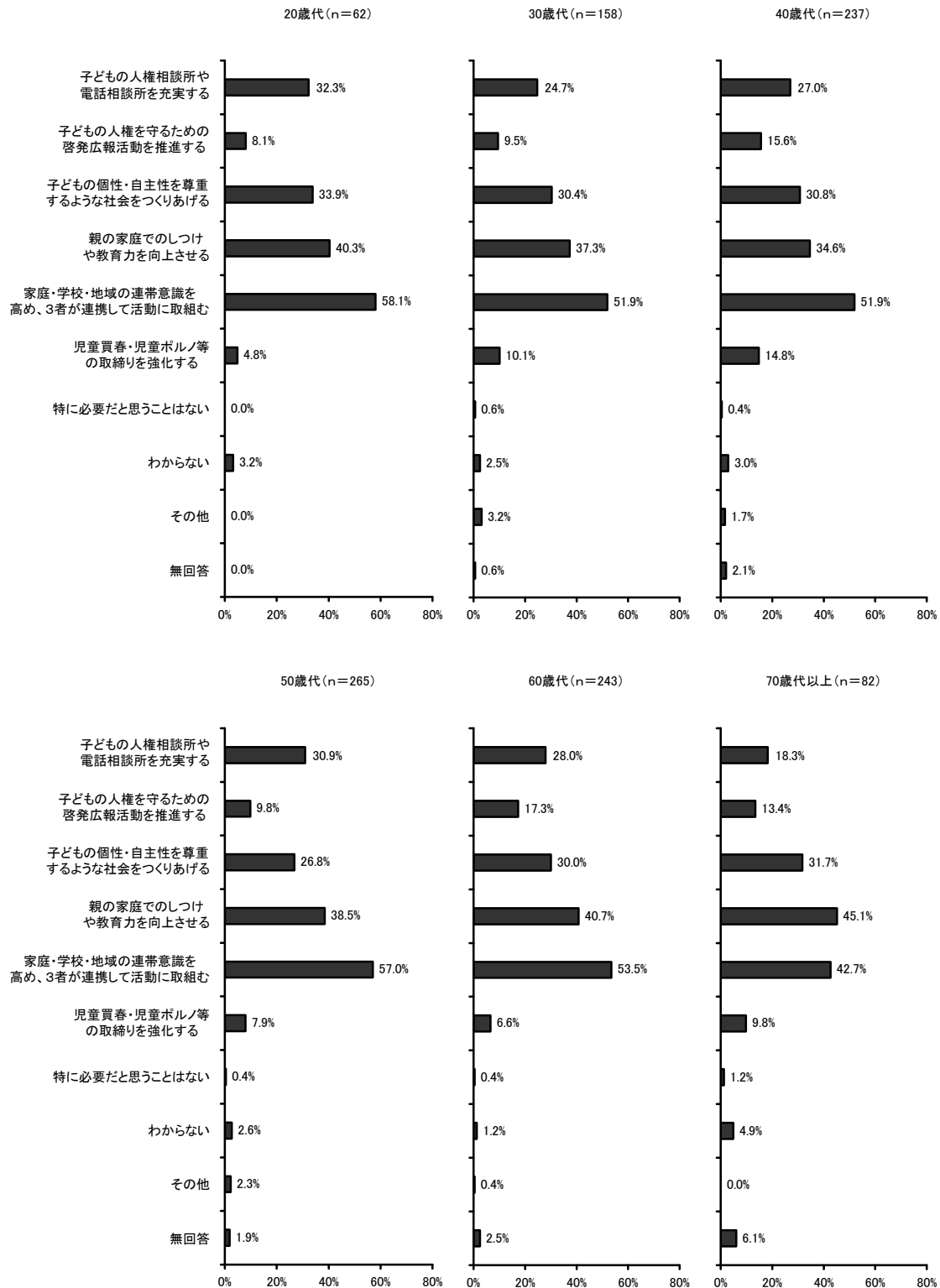
■「子どもの人権相談所や電話相談所を充実する」は前回に比べ3.4ポイント、「子どもの人権を守るための啓発広報活動を推進する」は6.7ポイント増加している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「子どもの人権相談所や電話相談所を充実する」の割合は女性が、「子どもの人権を守るための啓発広報活動を推進する」の割合は男性がやや高い。

年代別



■ 「家庭・学校・地域の連帯意識を高め、3者が連携して活動に取り組む」の割合は20～60歳代で最も高く、「親の家庭でのしつけや教育力を向上させる」の割合は70歳代以上で最も高くなっている。